

分野 [テーマ]	現状・課題	分野別の目指す 将来像	目指す将来像を実現するために必要な取り組み		
			既存の取組み	話し合いの場に出された意見(一部抜粋)	
交流 〔世代間交流 地域内交流 自治会〕	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間を超えた交流の場が少ない。 ・祭りなど軸となる交流の場が少ない。 ・まちづくりに関して自分の意見をいう場が少ない。 ・情報共有の場が回覧板しかないので、みんなに伝わるような広報が必要。 ・回覧板は文字が多く読んでない人もいるため、効果が少ない。 ・自治会活動について、地域が支えられていること等、気づいていない。それを理解してもらうことが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのつながり合いの中で新たなコミュニティを創る ～人が顔を合わせる場をつくる～ ・地域全体でつくりあげ盛り上げて”人のつながり”を強める 	<ul style="list-style-type: none"> ・三世代交流グラウンドゴルフ大会(合歓の木会) ・グラウンドゴルフ愛好会(北自治会) ・ふれあいもちつき大会(北自治会) ・夏祭り(合歓の木会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区全体で参加者を募り、ふれあいセンターなどを利用して、世代を超えた交流を行う。 ・テーマ別の顔合わせの場(料理、登山、味噌作り、フリーマーケット等)を設ける。 ・男性が出てくるような場を設ける。 ・準備の段階から、男性、子どもたちに参加してもらう。 ・町内運動会、くんち、ラジオ体操など、全世代が参加できる地域行事をつくる。 ・世代別の同窓会の場を設ける。 ・活動が分かるチラシや広報誌を全世帯に配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での周知や、ふれあいセンターの掲示板などを活用して、自治会活動を周知する。 ・全世帯配布のチラシ作成(交流情報+自治会活動の紹介) ・チラシ作成の講習会への参加 ・ゴミステーションを利用してのポスター等作成
環境 〔生活環境 自然環境 交通〕	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路や見えにくいところにゴミが落ちている。 ・ノラ猫がいる。また、ふん尿の処理・マナーが出来ていない。 ・台風後の倒木、カーブミラー等に木が覆いかぶさり見えにくい。 ・サル、イノシシが出るから危ない。不安。 ・サル・イノシシが出た時に住民にすぐに知らせる術がない。 ・防護柵の設置要望を出しても行政の対応が遅い。 ・パーキングが無いため、路上駐車がみられる。 ・屋根がないバス停があり、街路樹に付いた虫が落ちてきたり、雨の日は濡れて不便。 ・ベンチが欲しい。 ・バスの本数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静かで景色も良い住みやすい町 ・高齢者も子どもも動物も安心して暮らせる町にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内及び公園の清掃(一部自治会) ・犬猫適正飼育の注意看板設置 ・ノラ猫へのエサやり注意(広報) ・去勢手術の案内 ・倒木、大きくなった樹木の処理 ・警察に連絡 ・有害鳥獣相談センターに連絡相談する(一部自治会)。 ・ベンチについては、広告用として企業に設置(道路等の条件あり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の清掃活動に中学生・小学生も参加してもらう。 ・公園の定期的な清掃。 ・ノラ猫を放っておくとうなるか学び注意看板等の対策をする。 ・袋やペットボトルに水を入れて持ち歩くなど適正飼育の看板を作成する。 ・倒木等について自治会で話し、市・警察に相談する。 ・サル、イノシシに出合った時の対処法を有害鳥獣相談センター等から学び、出没した際は、小学校の安心安全メールで連絡を回す。また、連絡先を書いた看板を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防護柵の対応を行政に要望する。 ・警察・消防へ連絡を回す。 ・パーキングを作ってもらえるようスーパー、空地の持ち主に頼む。 ・自治会で話し合っバス会社や企業に屋根付きバス停やベンチを設置してもらう。 ・コミュニティバス、乗り合いタクシーの導入を検討する。
防犯・防災 〔防犯 防災 交通安全〕	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯(LED)の明るい範囲が狭い。 ・街灯が少なく暗いところがある、また、樹木で隠れているところがある。 ・防災マップが全地区にない。一部の地区にはあるが更新されていない。 ・AEDが少ないので不安。 ・冠水して通れないところがある。 ・自主防災組織を結成する必要がある。 ・子供に対して防犯・防災意識を伝える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼でも夜でも安心して歩けるまち ・住民が安心・安全に暮らせるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップの全戸配布(北自治会) ・夏祭りでAED講習会(合歓の木会) ・自主防災組織結成(北自治会、西自治会)。 ・児童対象のまち歩き、消火訓練、炊き出し訓練、防災卓話の実施(北自治会) ・年末の火の用心パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯を高くして人感センサー付きにする。 ・街灯を増やしてもらうよう要望を出す。 ・全地域の避難場所と経路を表したマップを作成する。 ・みんなで集まって危険な場所や過去の経験を話し合う。 ・防災マップを更新し、バージョンアップする ・AEDを集会所毎に屋外に設置し、AEDの講習会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冠水する場所を表示して回覧板で回す。 ・パトロールを行い、危険箇所を新入生に知らせ、行政にも情報提供する。 ・自主防災組織を結成する。 ・ワンワン・ウォーキングパトロールを実施する。 ・町歩きをし、危険箇所・防火施設等の確認等の説明。 ・あいさつをする。 ・一斉に通知するシステムをつくる。
福祉 〔高齢者 人材発掘 人材育成〕	<ul style="list-style-type: none"> ・1人暮らしの世帯が増加し、高齢者が把握できない。また、地域の集いに誘っても来ない ・手助けをしたいが、横のつながりがなく、入り込めない ・高齢者が楽しめる場所が少ない。 ・地域に情報が浸透していない。 ・ささえあいマップが作成されていない(個人情報の問題) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者までの全世代の交流する機会を作り、地域で顔見知りを増やす ・10年後を見据え、高齢者の生きがいづくりを促進し、地域の繋がりを強めることで健康寿命をのばす! 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロン ・グラウンドゴルフ愛好会 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔見知りになり、あいさつ・世間話をする。 ・高齢者の引きこもりを防ぐため、高齢者サロンの実施。 ・健康寿命をのばすため、介護予防教室などを開催する。 ・グラウンドゴルフなどの世代交流の場を継続していけるようにする。 ・雨でも運動できる場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいセンターの掲示板等にどんどんお知らせをして、いろいろなグループがあることを知ってもらう。 ・地域の情報を知ってもらう(いきいきサロン、悠々会(老人会)、夏休みのラジオ体操) ・懇親会等をして、いろんな意見を出してもらう。 ・小江原ニュータウンテニスクラブなどを行っているが、知らない人も多く、周知が必要である。
子ども・子育て 〔子ども 子育て〕	<ul style="list-style-type: none"> ・人通りが少ない中、1人で登下校する子供が多く見守りが必要 ・子供の交通安全・青パトの担い手が少ない ・集まって遊べる場所が欲しい(外あそびをする子供が少なくなった)。 ・球技が出来る場所が欲しい。 ・児童が、帰宅時間を確認できるよう、公園に時計が欲しい。 ・子どもを一時的に預かってくれる所がない。 ・今後小学校が統合されることや、中学校で一緒になることを見据えて、各小学校間での交流の場が欲しい。 ・大人の意見だけでなく、自由な子どもの意見を聞きたい。 ・子育て世代の多い自治会と高齢者が多い自治会の交流の場が欲しい。 ・小児科がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが大人になっても戻ってくる温かく安心安全のまちづくり ・自然を活かして地域の方と一緒に子供を育てる場所にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども見守り隊 ・子どもを守るネットワーク ・子供110番の家 ・防犯連絡所 ・防犯カメラの設置 ・各団体で交通安全を実施 ・青パト・交通指導員による立哨の実施 ・通学路の点検パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる通学路にする。(町ぐるみで立哨、街灯をつける) ・”いつも見守っているよ”という雰囲気をつくる ・散歩の時間を登下校に合わせて、ワンワンパトロールをする。 ・青パトの担い手がいないため、呼びかけをする。 ・放課後に安心して遊べる場所を確保する。(図書館など) ・スポーツ大会(地域ごと、年代ごと)を実施する。 ・地域の環境づくり(雑草とり、生き物の飼育、ゴミ拾いなど行う姿を大人から子どもへ見せる、子どもにも参加してもらう)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を活かして大人と一緒に子供を育てる場作り ・ミニバスケットボール用のゴールが欲しい。 ・帰宅時間の10分前に、防災無線を使って放送する。 ・時計の設置を市に要望する。 ・子ども食堂のような場をつくる。 ・小学校での地域交流を行う。 ・人が集まる場作り(勉強を中学生が小学生に教える場、お年寄りが子供たちの安全を見守る場) ・小学6年生を対象として、手熊や小江原も一緒に年1回デイキャンプを行う。 ・学校の活動の中で子どもたちの意見を収集する。